



## The MIDORI Prize for Biodiversity 2012

受賞者記者発表における

ブラウリオ・フェレイラ・デ・ソウザ・ジラス

生物多様性条約事務局長からのメッセージ

2012年9月20日

生物多様性条約事務局は、イオン環境財団とともにThe MIDORI Prize for Biodiversityを共催させていただくことを、大変誇らしく、また光栄に思っています。そして、本日の2012年の受賞者発表記者会見の場に、こうしてメッセージをお送りできることを、大変うれしく思っております。

The MIDORI Prizeは、生物多様性の保全と持続可能な利用のための認識向上や活動促進を支援する、ユニークで力強い取り組みです。私は、「生物多様性のノーベル賞」ともいえる、この生物多様性に特化した特別な賞を創設されたイオン環境財団、そして本賞の運営に多大な貢献をされたすべての関係者の皆様に、心からお礼を申し上げたいと思います。また、さまざまな点で模範を示されている岡田理事長には、特にお礼を申し上げたいと思います。

20年前、地球上の生物多様性とそれが提供するサービスが、私たちの生活の基盤であり、持続可能な開発にとってなくてはならないものであるという認識から、生物多様性条約が採択されました。その後20年間、大きな進捗がありましたが、それにもかかわらず、世界の生物多様性は減少しつづけ、効果的で緊急的な取り組みがますます必要となってきました。このことから、2010年、日本の愛知県名古屋市において、条約の193の締約国等の政府は、20の生物多様性愛知目標を含む、野心的な、生物多様性のための戦略計画（2011-2020）を採択しました。



Convention on  
Biological Diversity

Secretariat of the Convention on Biological Diversity  
United Nations Environment Programme  
413 Saint-Jacques Street, Suite 800, Montreal, QC, H2Y 1N9, Canada  
Tel : +1 514 288 2220, Fax : +1 514 288 6588  
[secretariat@cbd.int](mailto:secretariat@cbd.int) [www.cbd.int](http://www.cbd.int)



とはいえ、私たちの日々の生活に密接にかかわっている地球上のいのちを守ることは、環境保護担当の省庁だけの責任ではありません。ひとりひとりの市民の問題でもあるのです。このことから、国連総会は 2011-2020 年を「国連生物多様性の 10 年」と定め、世界中の市民が地球のいのちを守る活動に参加することをよびかけることにしました。

The MIDORI Prizeは、顕著な貢献をした個人を顕彰し、そのすばらしい活動を紹介することにより他の人々をインスパイアして、この「生物多様性の10年」の目的をサポートするものです。私は、この10年を通じて、この賞の影響力がより高まり、生物多様性に関する認識の向上に貢献するに違いないと確信しております。

ここに、2012年の受賞者に心からのお祝いを申し上げたいと思います。受賞者の3名は、研究成果を国の政策に反映させたり、他国の手本となるような国の生物多様性機関を創設したり、国家的な保全運動の基礎を作り上げたり、さまざまな分野で成功を収めてこられた方々です。このようなすばらしい受賞者の皆様に2012年の賞を授与することを嬉しく思っており、彼らの顕著な貢献が、生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性に関する人々の理解を深めることを期待しております。

-----